

令和7年度 中之島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

<成果>

- ・国語、数学の両教科において、平均正答率が全国平均を大きく上回っている。理科については、IRTバンド5および4の割合が全国と比較して上回っている。
- ・国語、数学、理科の3教科とも特に苦手としている分野や問題形式がなく、幅広く学力を身につけることができている。
- ・今年度は開校して初めての全国学力・学習状況調査で、実施生徒数が34人ということもあり、学力面における学校としての傾向を分析することは困難である。

【今後に向けて】

○全国学力・学習状況調査結果より

- ・本校では総合的な学習の時間で、「コア・プロジェクト」という探究学習に取り組んでいる。自ら問いを立てて仲間とともに協働的に課題解決を図るためには、各教科の学習において、幅広い視点で物事を多角的に捉えることができるような資質・能力を育む必要がある。いかにして思考力・判断力・表現力を身につけさせるかという視点に立って学校全体で授業改善に取り組む。
- ・生徒質問「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」や「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」で、肯定的回答をする生徒が全国平均を大きく上回った。3年生は昨年度から本校に転入し学校生活を送っているが、教師と生徒が信頼関係を構築することができている。今後も日々の学校生活において生徒の気持ちに寄り添いながら教育活動を進めていく。